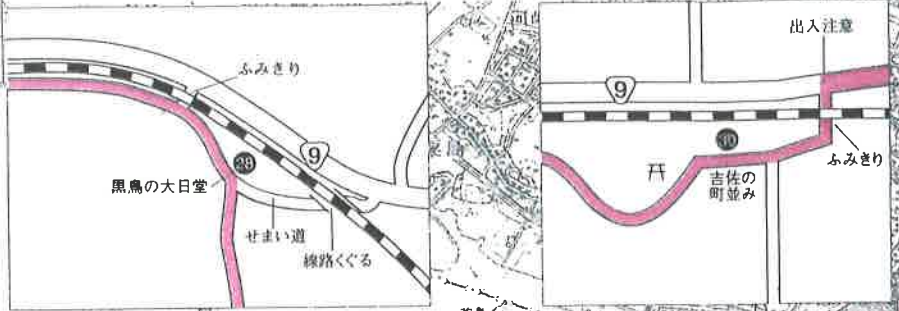
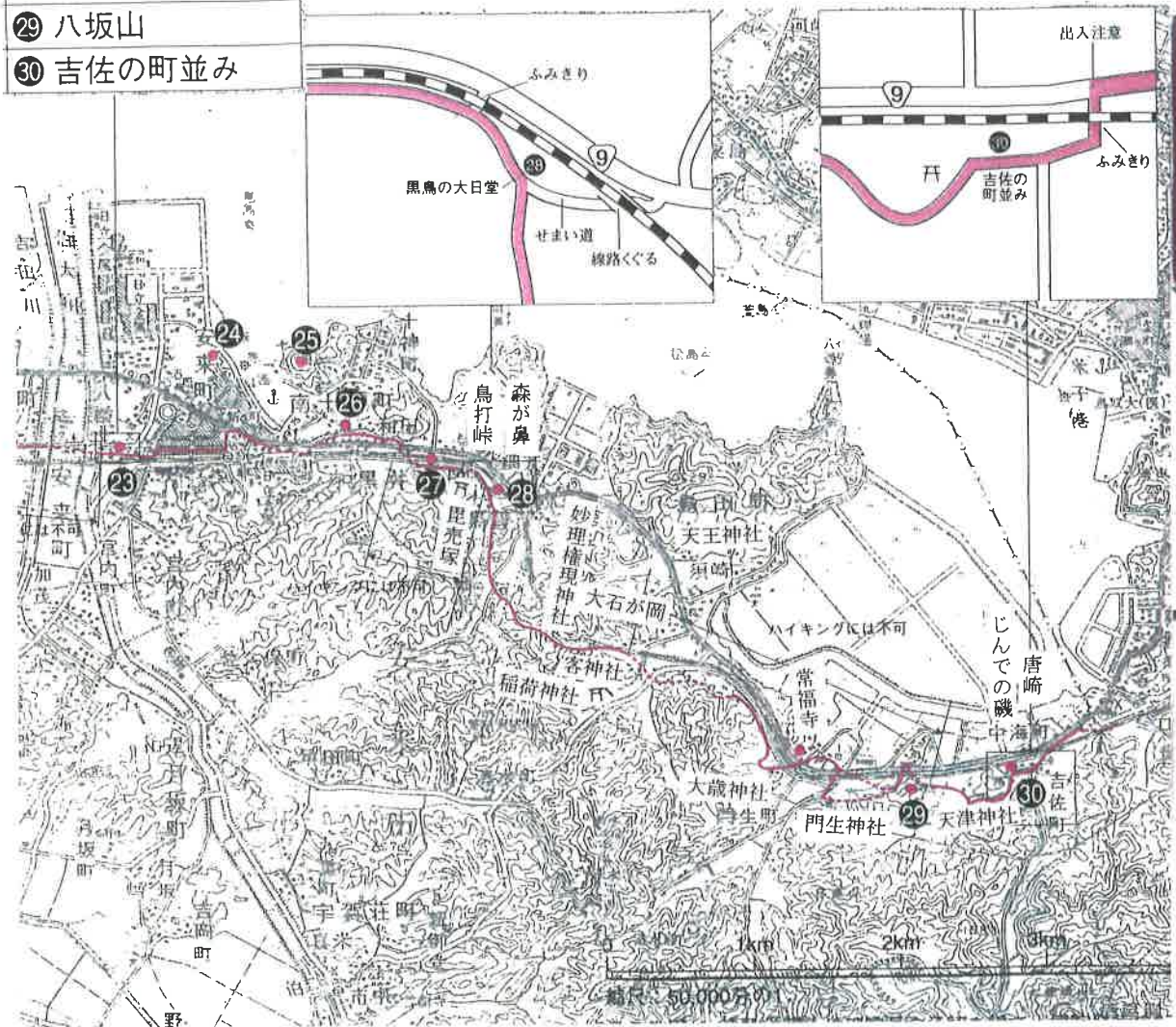


- 23 安来 宝塚
- 24 和鋼博物館
- 25 十神山
- 26 安来御茶屋跡
- 27 毘売塚古墳
- 28 黒鳥の大日堂
- 29 八坂山
- 30 吉佐の町並み

山陰道

歴史

門生



あり「右きよみず・左ひろせ・南無阿弥陀仏・宝曆□□」と刻まれています。この桜は安来市の桜名木10選の中に入れていましたが、平成6年夏に惜しくも枯れました。付近の人々はこの桜の花が咲くと二十世紀梨の人工交配を始めたとか。

山陰道と出合う門生追分

街道は門生川に沿って進みます。門生神社を過ぎ、ついで小さい尾根の先に墓地があり、墓地には六地藏がまつられています。街道はここ門生で山陰道に合流し、吉佐へと向かいます。合流点は「門生追分」と呼ばれていました。この追分がどの地点であったのかについては、まだはっきりわかっていません。

石地藏が案内する清水表参道

清水峠を東へ200メートルほど下りたところで清水への参詣道が左へ分かれ、さらに200メートルほど下っていくとまた分かれ道があります。これが往時の表参道です。ここには石の地藏が立っていて、大きな桜の古木の根に包まれた石の道標が

45 多木村の道標 46 門生の六地藏



門生の六地藏 / 六地藏のひとつに寛延2年(1749)の年号を認めることができます。ここにも力士の墓があり、彦綱(いかりづな)久之助と刻まれ、文化4年(1807)という年号が刻まれています。